

八千代市まち・ひと・しごと創生に関する
市民満足度調査

報 告 書

八 千 代 市

平成 29 年 3 月

目 次

第1章	調査の概要	
1.	調査の目的	3
2.	調査の設計	3
3.	回収状況	3
4.	報告書を読む際の留意点	3
5.	標本誤差	4
6.	居住地域	5
第2章	調査結果の分析	
1.	調査対象者の属性	9
2.	八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査結果	12
3.	公共施設の跡地利用に関する調査結果	33
第3章	調査票	37

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

将来の人口減少対策として、今後市が重点的に取り組むべき政策目標・施策を示す「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける各事業に関連して、市民の満足度を把握することを目的に実施する。

2. 調査の設計

調査対象 : 市内に在住の18歳以上の男女
 調査標本数 : 3,000名を抽出し、最終的に2,993人を標本数とした。
 抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
 調査方法 : 郵送による配布・回収
 調査期間 : 平成29年1月21日～2月7日

3. 回収状況

標本数	有効回収数	有効回収率
2,993	1,121	37.5%

4. 報告書を読む際の留意点

- 集計は、小数第2位を四捨五入して算出しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 基数となる実数は、「n」として表示しています。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中ではふれていない場合があります。
- 統計数値を考察するにあたっての表現はおおむね以下の通りです。

例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば
27.0～29.9%	約3割

第1章 調査の概要

5. 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（P）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数（八千代市の18歳以上人口）
 n = 比率算出の基数（回答者数）
 p = 回答の比率（%）

今回の調査結果の標本誤差は下記のようになる。

回答比率(P) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,121	±1.79%	±2.39%	±2.74%	±2.93%	±2.99%
1,000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
800	±2.12%	±2.83%	±3.24%	±3.46%	±3.54%
600	±2.45%	±3.27%	±3.74%	±4.00%	±4.08%
400	±3.00%	±4.00%	±4.58%	±4.90%	±5.00%
200	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

注／この表の見方

標本誤差とは・・・今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査においては、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が1,121であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.93%以内（57.07～62.93%）である」とみることができる。

6. 居住地域

居住地域別のクロス集計は、『八千代市地域コミュニティ推進計画』を参考にし、次のように集約して分析の軸としている。

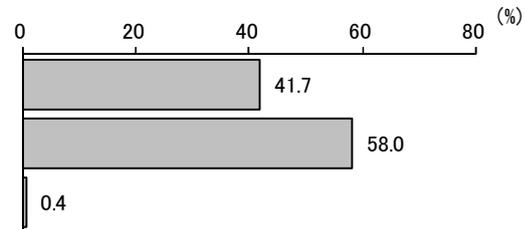
居住地名		集約後の居住地名
大和田地区	→	大和田地域
ゆりのき台地区		
大和田新田(A)地区	→	高津・緑が丘地域
大和田新田(B)地区		
高津・緑が丘地区		
高津団地地区	→	八千代台地域
八千代台東南地区		
八千代台西北地区	→	勝田台地域
勝田台地区		
村上地区	→	村上地域
村上団地地区		
阿蘇地区	→	阿蘇地域
米本団地地区		
睦地区	→	睦地域

第2章 調査結果の分析

1. 調査対象者の属性

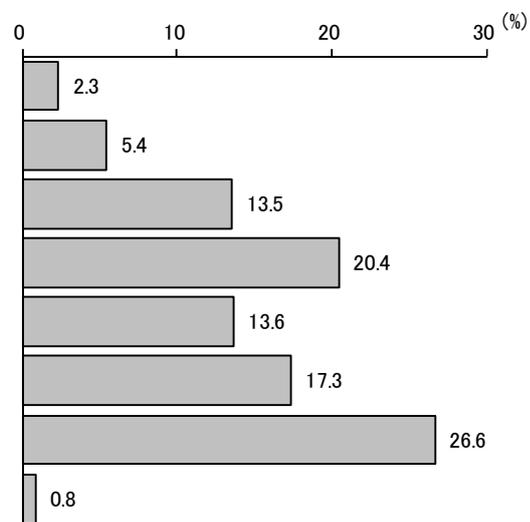
(1) 性別

	n	構成比
男	467	41.7%
女	650	58.0%
無回答	4	0.4%
全体	1,121	100.0%



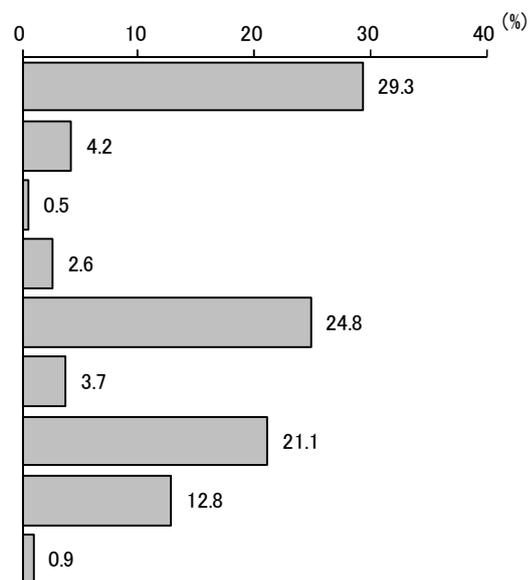
(2) 年齢

	n	構成比
18～19歳	26	2.3%
20～29歳	61	5.4%
30～39歳	151	13.5%
40～49歳	229	20.4%
50～59歳	153	13.6%
60～69歳	194	17.3%
70歳以上	298	26.6%
無回答	9	0.8%
全体	1,121	100.0%



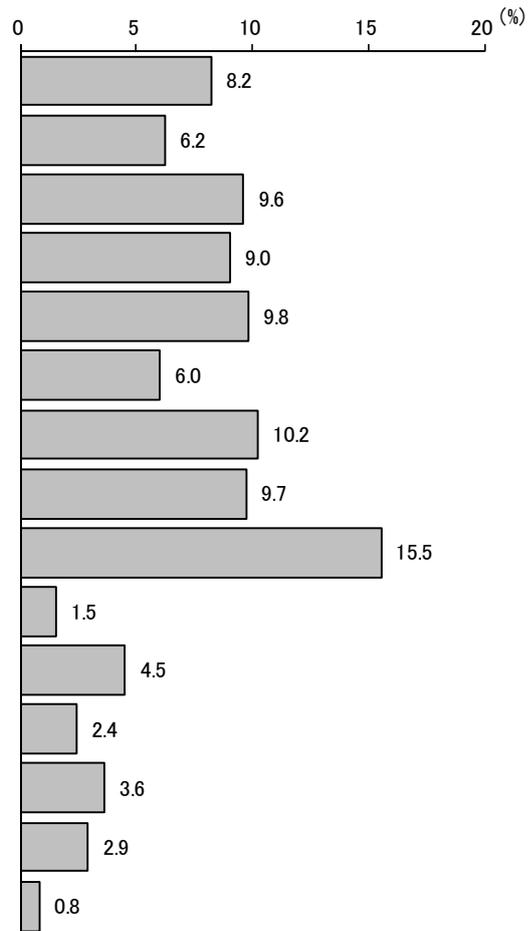
(3) 職業

	n	構成比
会社員	329	29.3%
自営業	47	4.2%
農業	6	0.5%
公務員	29	2.6%
専業主婦または主夫	278	24.8%
学生	41	3.7%
無職	237	21.1%
その他	144	12.8%
無回答	10	0.9%
全体	1,121	100.0%



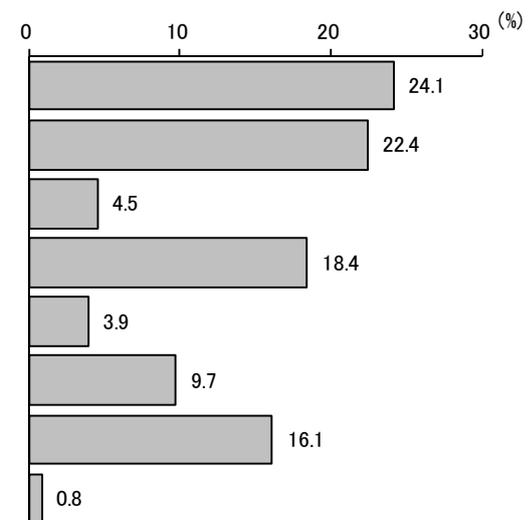
(4) 居住地区

	n	構成比
大和田地区	92	8.2%
ゆりのき台地区	70	6.2%
大和田新田(A)地区	108	9.6%
大和田新田(B)地区	101	9.0%
高津・緑が丘地区	110	9.8%
八千代台東南地区	67	6.0%
八千代台西北地区	114	10.2%
勝田台地区	109	9.7%
村上地区	174	15.5%
阿蘇地区	17	1.5%
睦地区	51	4.5%
米本団地地区	27	2.4%
高津団地地区	40	3.6%
村上団地地区	32	2.9%
無回答	9	0.8%
全体	1,121	100.0%



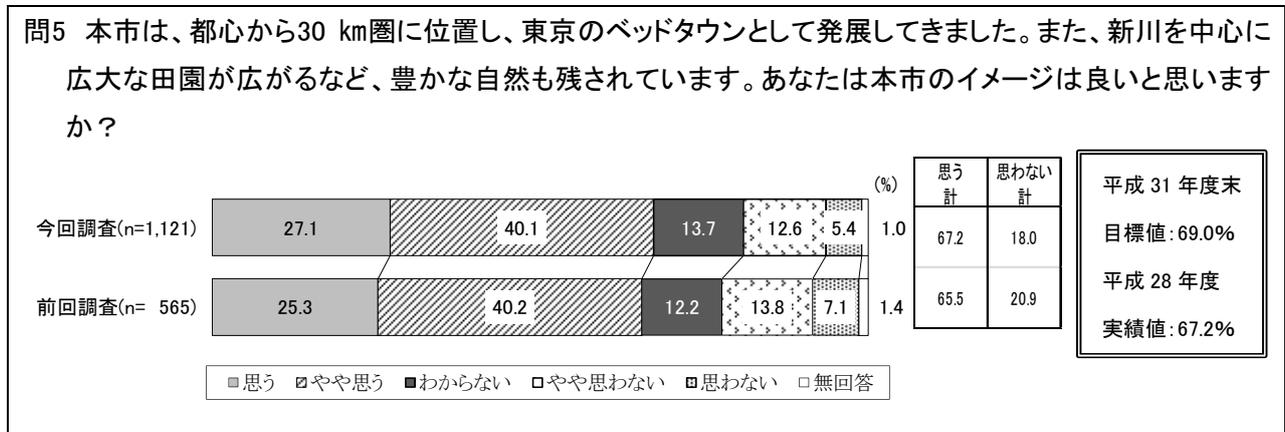
【(再掲) 7地区】

	n	構成比
大和田地区	270	24.1%
高津・緑が丘地区	251	22.4%
睦地区	51	4.5%
村上地区	206	18.4%
阿蘇地区	44	3.9%
勝田台地区	109	9.7%
八千代台地区	181	16.1%
無回答	9	0.8%
全体	1,121	100.0%



2. 八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査結果

(1) 「八千代市のイメージ」について



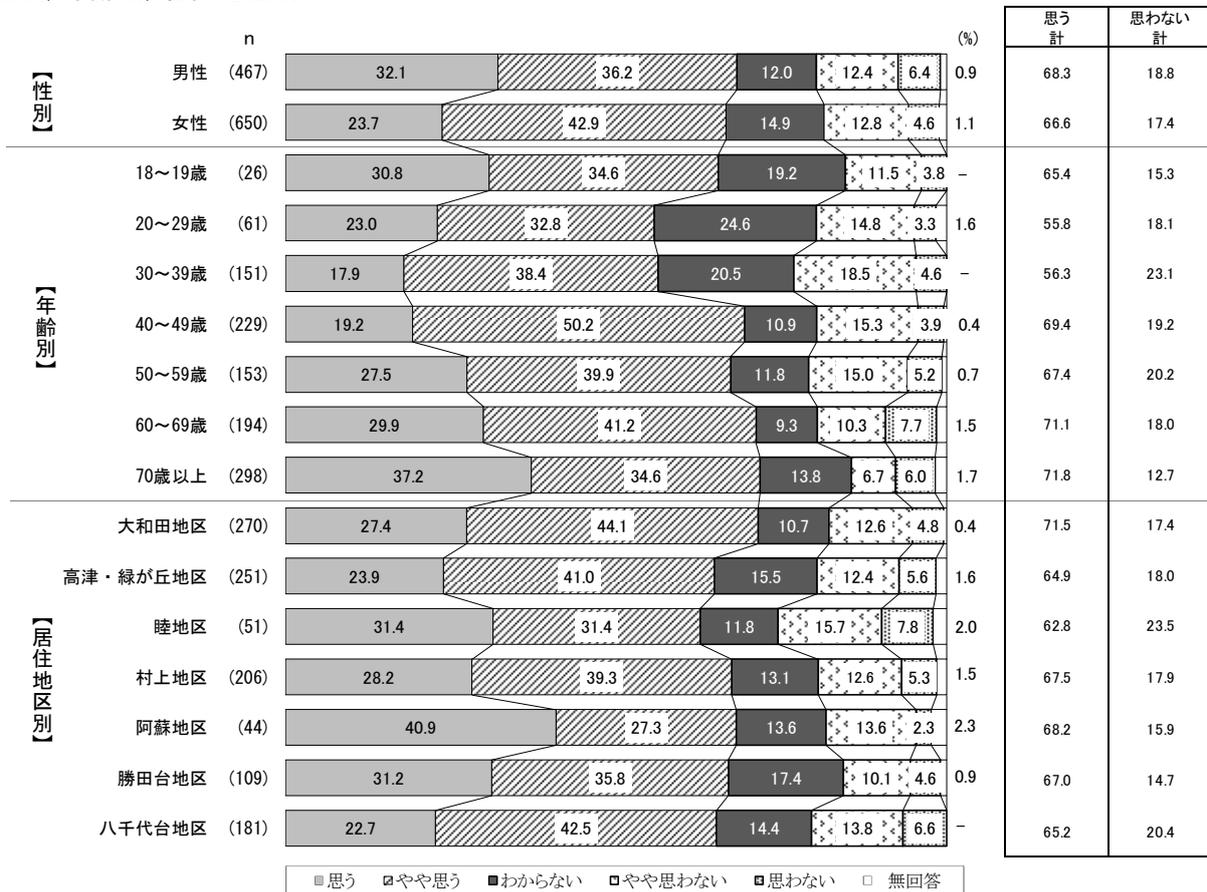
本市のイメージが良いと思うかについては、「やや思う」(40.1%)が4割で最も多く、「思う」(27.1%)を合わせた<思う 計>は67.2%となっています。

前回調査と比較してみると、<思う 計>は前回調査より1.7ポイント増加しています。

平成31年度末までの目標値69.0%に対して、平成28年度の実績値は67.2%であり、今回調査の達成率は97.4%となっています。

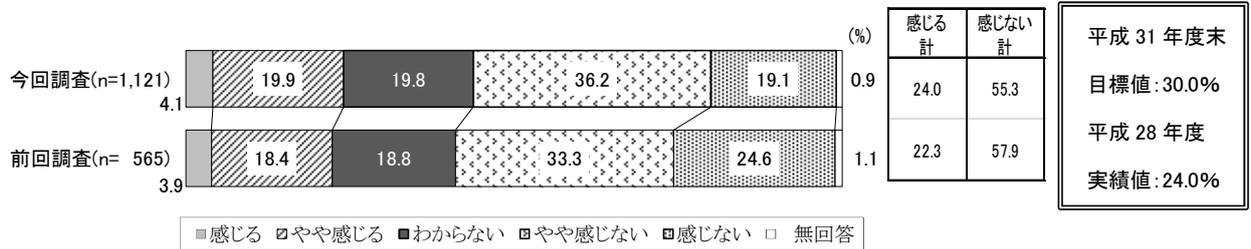
性別にみると、〈思う 計〉の割合は男性（68.3%）が女性（66.6%）を1.7ポイント上回っています。
 年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は60歳以上で7割を超えて多くなっています。
 居住地区別にみると、〈思う 計〉の割合は大和田地区で71.5%と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地区別



(2) 「八千代市の活性化」について

問6 まちの活性化のためには、「地域コミュニティの活性化」、「地域の産業の活性化」「地域の観光の活性化」などが必要ですが、本市は現在、まちが活性化していると感じますか？



まちが活性化していると感じるかについては、「やや感じない」(36.2%)と「感じない」(19.1%)を合わせた「感じない 計」が55.3%と半数を超えています。

前回調査と比較してみると、「感じない 計」は前回調査より2.6ポイント減少しています。

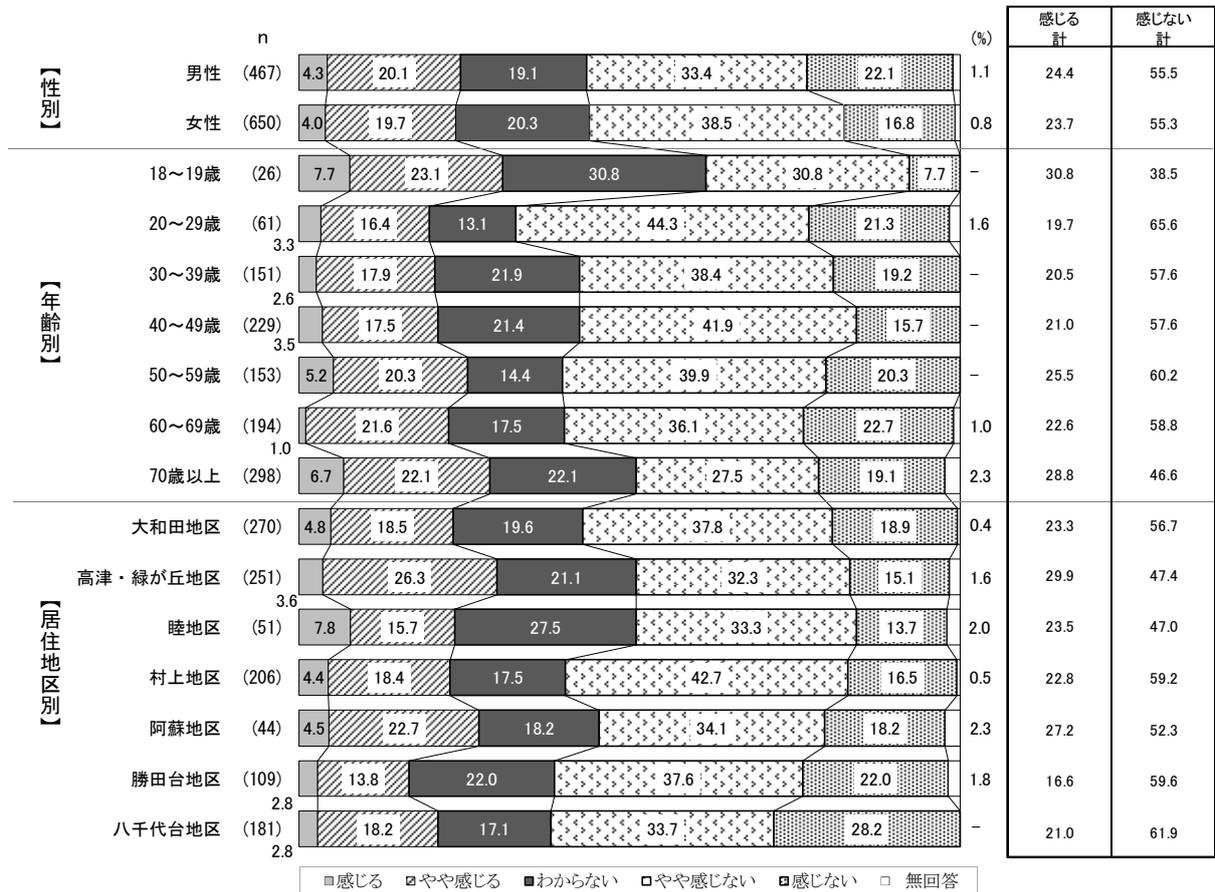
平成31年度末までの目標値30.0%に対して、平成28年度の実績値は24.0%であり、今回調査の達成率は80.0%となっています。

性別では大きな差はみられません。

年齢別にみると、＜感じる 計＞の割合は18～19歳で30.8%と最も多くなっています。

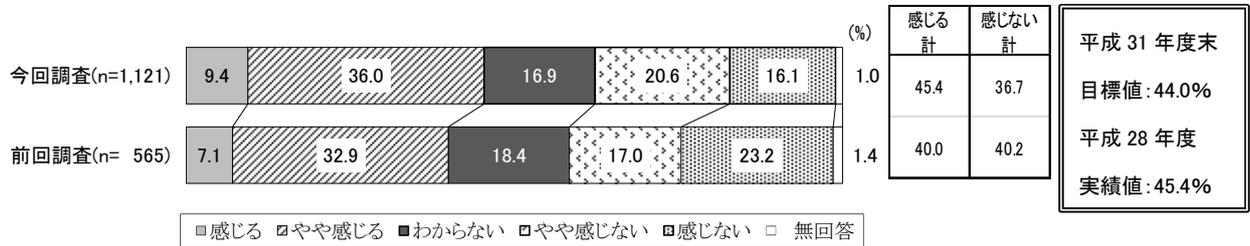
居住地区別にみると、＜感じない 計＞の割合は高津・緑が丘地区と睦地区を除くすべての地区で半数を超えており、八千代台地区では61.9%と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地区別



(3) 「新川周辺の活性化」について

問7 市のシンボリック存在の新川の周辺には、やちよふれあい農業の郷、中央図書館・市民ギャラリーや総合グラウンドなどがあり、また、夏には八千代ふるさと親子祭が開催されるなど、イベントにも活用されています。あなたは新川周辺が活性化していると感じますか？



新川周辺が活性化していると感じるかについては、「感じる」(9.4%)と「やや感じる」(36.0%)を合わせた<感じる 計>(45.4%)が「やや感じない」(20.6%)と「感じない」(16.1%)を合わせた<感じない 計>(36.7%)を8.7ポイント上回っています。

前回調査と比較してみると、<感じる 計>は前回調査より5.4ポイント増加しています。

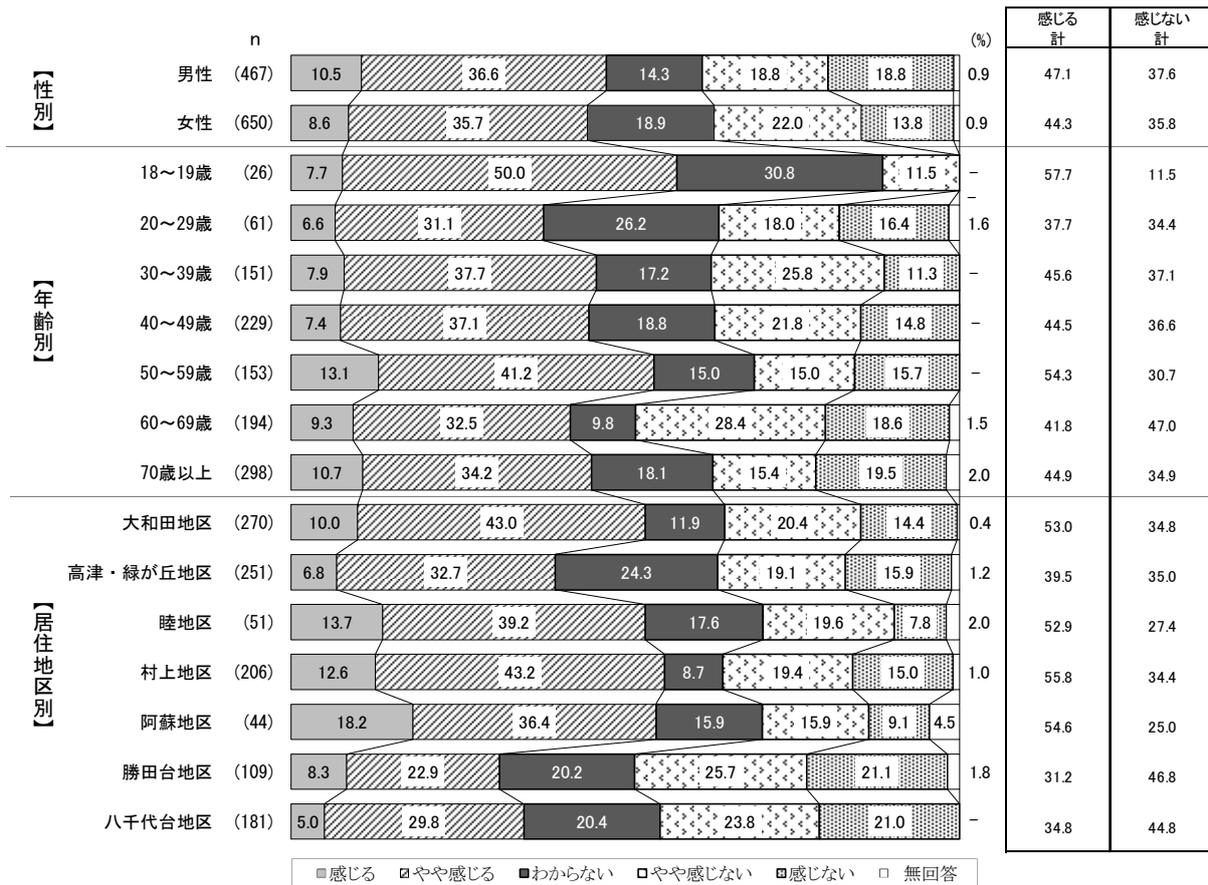
平成31年度末までの目標値44.0%に対して、平成28年度の実績値は45.4%であり、今回調査の達成率は103.2%となっています。

性別にみると、＜感じる 計＞の割合は男性（47.1%）が女性（44.3%）を2.8ポイント上回っています。

年齢別にみると、＜感じる 計＞の割合は18～19歳、50～59歳で半数を超えて多くなっています。

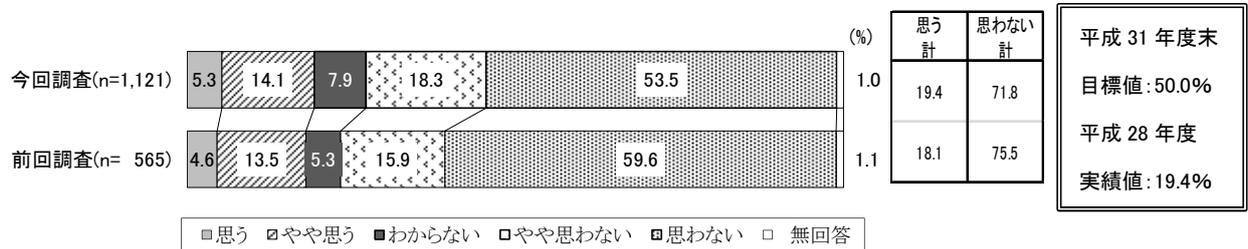
居住地区別にみると、勝田台地区と八千代台地区では＜感じない 計＞が＜感じる 計＞の割合を上回っており、他地域と意見の割合が逆転しています。

■性別/年齢別/居住地区別



(4) 「地域活動」について

問8 地域には、自治会などの活動をはじめ、老人クラブや地域ボランティアなどの様々な活動がありますが、あなたは積極的に地域活動に参加していると思いますか？



積極的に地域活動に参加していると思うかについては、「思わない」(53.5%)が5割台半ばで最も多く、「やや思わない」(18.3%)を合わせた<思わない 計>は71.8%となっています。

前回調査と比較してみると、<思わない 計>は前回調査より3.7ポイント減少しています。

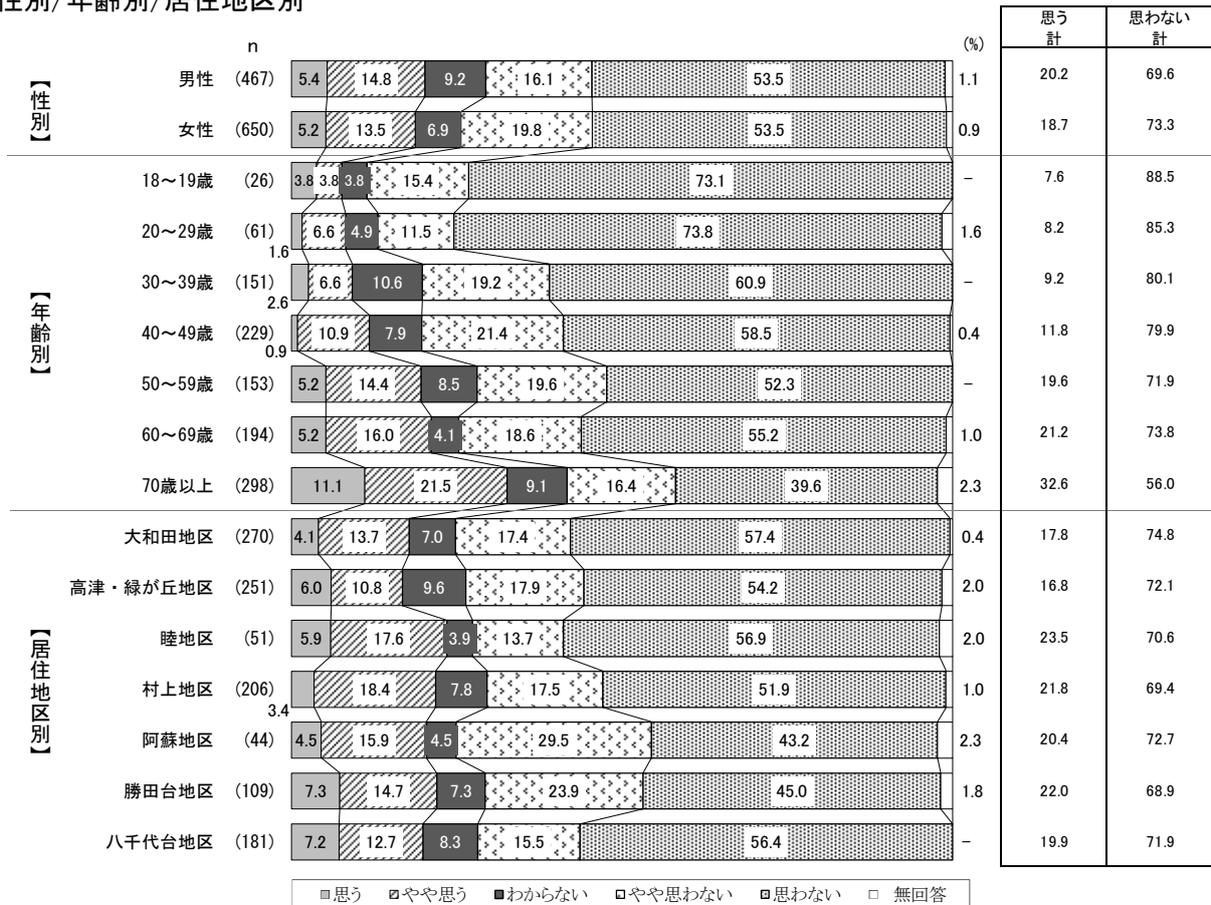
平成31年度末までの目標値50.0%に対して、平成28年度の実績値は19.4%であり、今回調査の達成率は38.8%となっています。

性別にみると、〈思わない 計〉の割合は女性（73.3%）が男性（69.6%）を3.7ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈思わない 計〉の割合は年齢が上がるにつれて概ね減少する傾向にあり、70歳以上では5割台半ばとなっています。

居住地区別にみると、〈思わない 計〉の割合はすべての地区で6割台後半から7割台を超えて多くとなっています。

■性別/年齢別/居住地区別



(5)「地域消防・救急体制」について

問9 市では、消防拠点の整備や車両の増強、救急・救助体制の強化や医療機関との連携強化に努めているところですが、あなたは本市の地域消防・救急体制が整っていると感じますか？



本市の地域消防・救急体制が整っていると感じるかについては、「感じる」(12.1%)と「やや感じる」(29.7%)を合わせた<感じる 計>が41.8%となっています。一方、「わからない」も43.1%と多くなっています。

前回調査と比較してみると、<感じる 計>は前回調査より2.4ポイント減少しています。

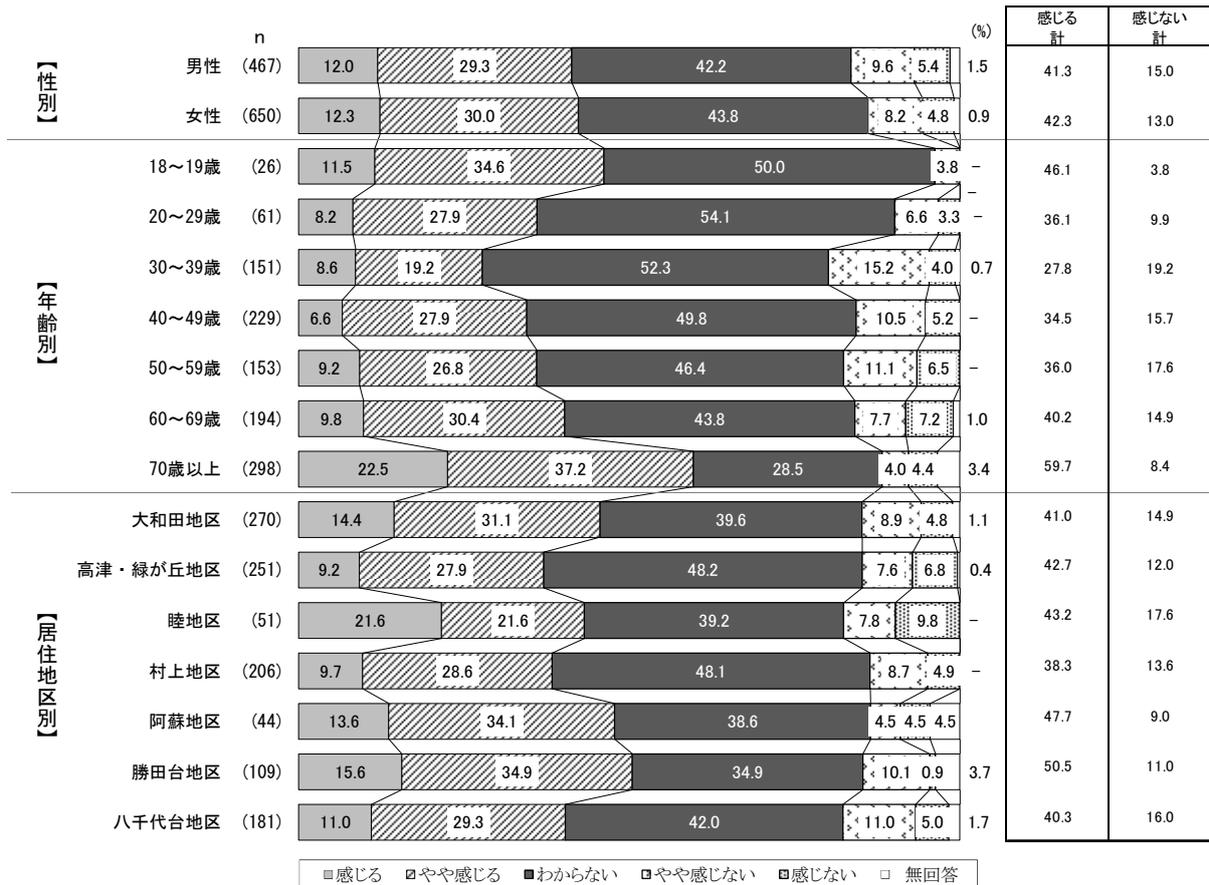
平成31年度末までの目標値50.0%に対して、平成28年度の実績値は41.8%であり、今回調査の達成率は83.6%となっています。

性別にみると、＜感じる 計＞の割合は男性（15.0%）が女性（13.0%）を2.0ポイント上回っています。

年齢別にみると、＜感じる 計＞の割合は30～39歳以降は年齢が上がるにつれて増加する傾向にあり、70歳以上では59.7%となっています。

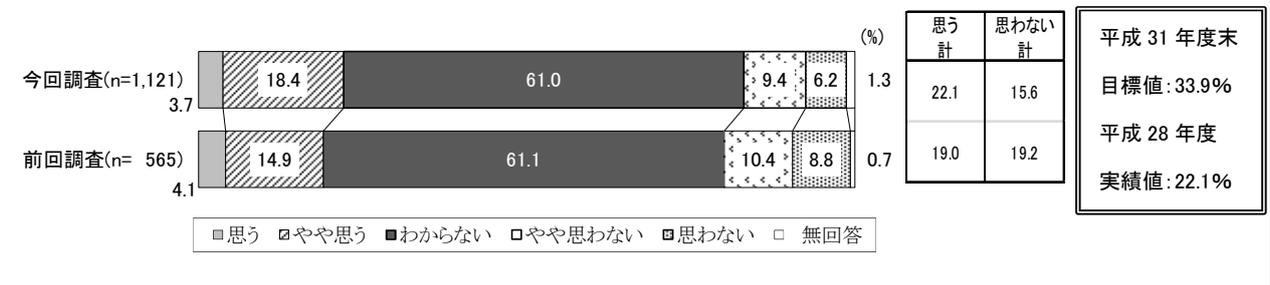
居住地区別にみると、＜感じる 計＞の割合は勝田台地区で約半数と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地区別



(6) 「災害に備えた対策」について

問10 市では、災害に備えて情報伝達手段の多様化や、食料などの必要物資の備蓄などに努めているところですが、本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思いますか？



本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思うかについては、「思う」(3.7%)と「やや思う」(18.4%)を合わせた<思う 計>(22.1%)が「やや思わない」(9.4%)と「思わない」(6.2%)を合わせた<思わない 計>(15.6%)を6.5ポイント上回っています。一方、「わからない」も61.0%と多くなっています。

前回調査と比較してみると、<思う 計>は前回調査より3.1ポイント増加しています。

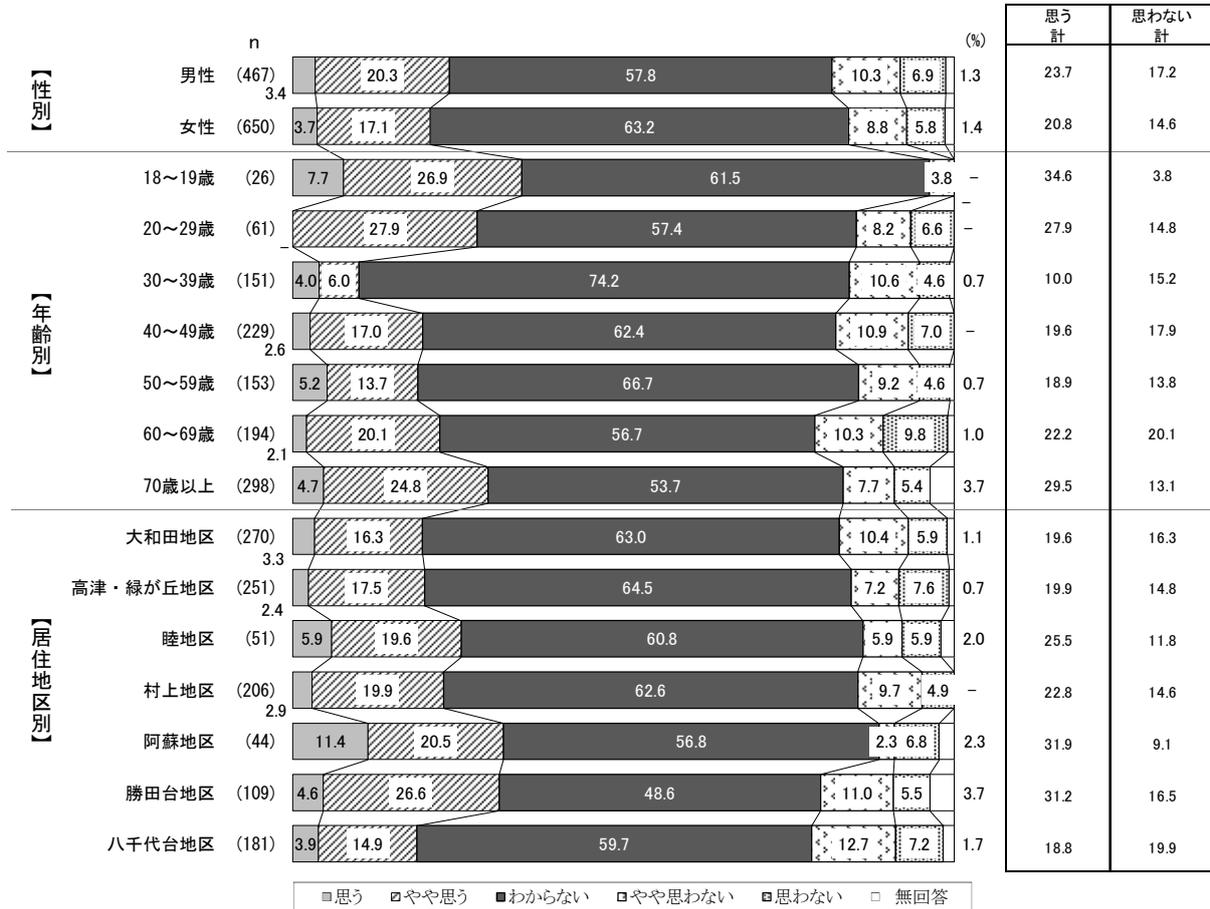
平成31年度末までの目標値33.9%に対して、平成28年度の実績値は22.1%であり、今回調査の達成率は65.2%となっています。

性別にみると、〈思う 計〉の割合は男性（23.7%）が女性（20.8%）を2.9ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は18～19歳で34.6%と最も多くなっています。

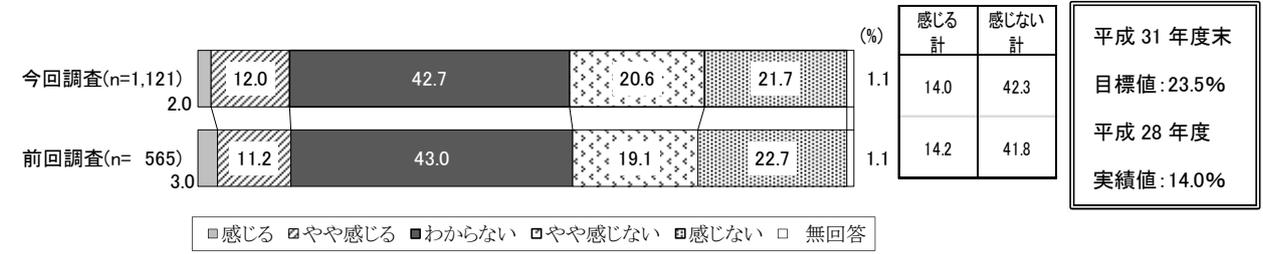
居住地区別にみると、〈思う 計〉の割合は阿蘇地区、勝田台地区で3割を超えて多くなっています。

■性別/年齢別/居住地区別



(7)「公共交通不便地域における高齢者の移動」について

問11 市では、公共交通の利用が困難な地域に居住し、外出が困難な高齢者のため、タクシーの利用料金の一部を助成し高齢者の外出を支援していますが、本市は公共交通不便地域にお住まいの高齢者など、交通弱者にやさしい交通環境だと感じますか？



本市は交通弱者にやさしい交通環境だと感じるかについては、「やや感じない」(20.6%)と「感じない」(21.7%)を合わせた<感じない 計>が42.3%となっています。一方、「わからない」も42.7%と多くなっています。

前回調査と比較してみると、<感じない 計>は前回調査より0.5ポイント増加しています。

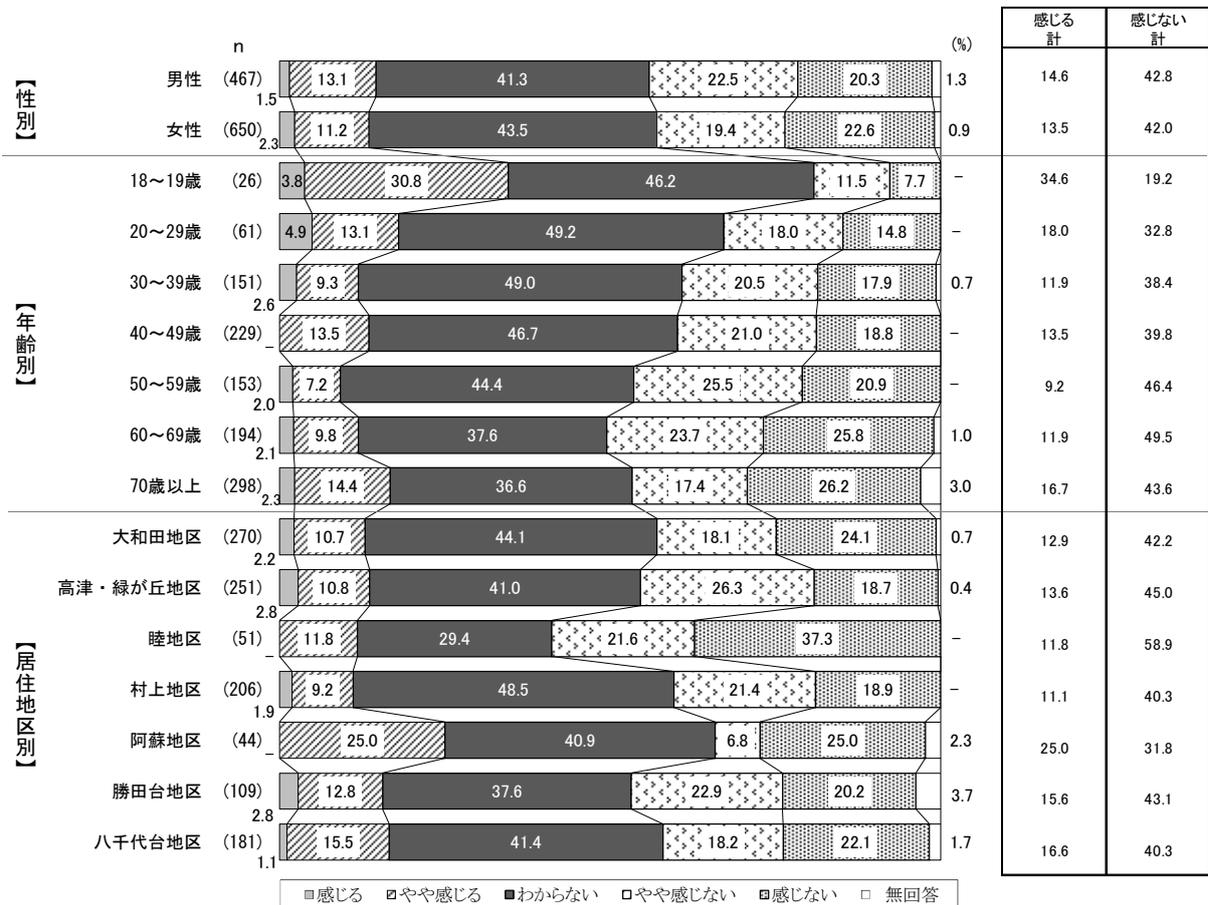
平成31年度末までの目標値23.5%に対して、平成28年度の実績は14.0%であり、今回調査の達成率は59.6%となっています。

性別にみると、＜感じる 計＞の割合は男性（14.6%）が女性（13.5%）を1.1ポイント上回っています。

年齢別にみると、＜感じない 計＞の割合は60～69歳で約半数と最も多くなっています。

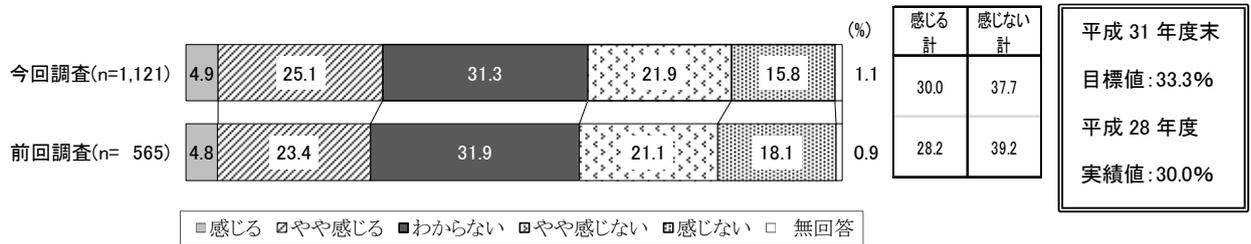
居住地区別にみると、＜感じない 計＞の割合は睦地区で58.9%と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地区別



(8) 「防災・生活情報の得やすさ」について

問12 市では、防災・生活情報の伝達強化や、多言語による防災・生活情報の配信に取り組んでいます
が、あなたは防災・生活情報が得やすいと感じますか？



生活・防災情報が得やすいと感じるかについては、「やや感じない」(21.9%)と「感じない」(15.8%)を合わせた<感じない 計>が37.7%、「感じる」(4.9%)と「やや感じる」(25.1%)を合わせた<感じる 計>が30.0%となっています。一方、「わからない」も31.3%となっています。

前回調査と比較してみると、<感じない 計>は前回調査より1.5ポイント減少しています。

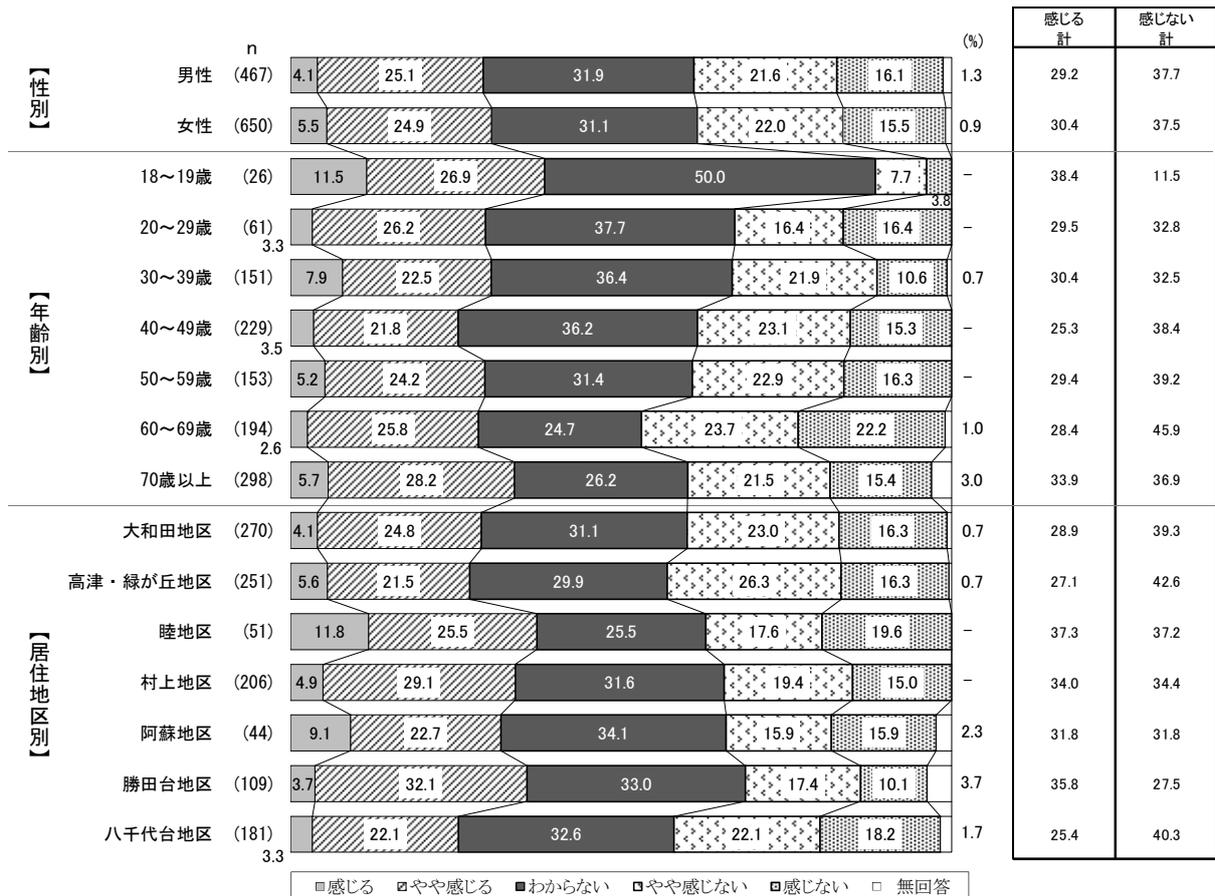
平成31年度末までの目標値33.3%に対して、平成28年度の実績値は30.0%であり、今回調査の達成率は90.1%となっています。

性別にみると、〈感じる 計〉の割合は女性（30.4%）が男性（29.2%）を1.2ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈感じない 計〉の割合は60～69歳で4割台半ばと多くなっています。

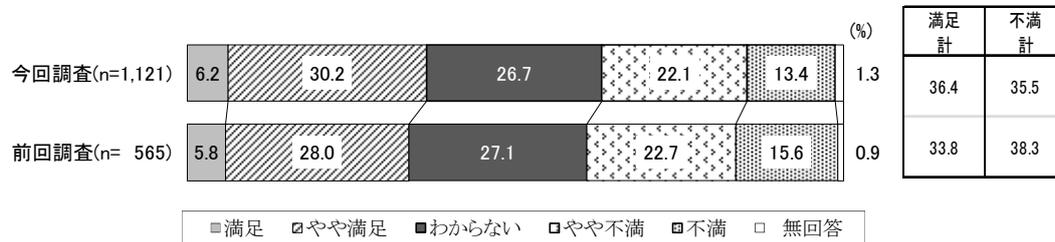
居住地区別にみると、〈感じない 計〉の割合は高津・緑が丘地区、八千代台地区で4割を超えています。

■性別/年齢別/居住地区別



(9) 公共施設のサービス、設備や管理・運営に関する満足度について

問13 市内には、市民会館・図書館をはじめ多くの公共施設がありますが、あなたは公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足していますか？



公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足しているかについては、「満足」(6.2%)と「やや満足」(30.2%)を合わせた<満足 計>が36.4%、「やや不満」(22.1%)と「不満」(13.4%)を合わせた<不満 計>が35.5%となっています。

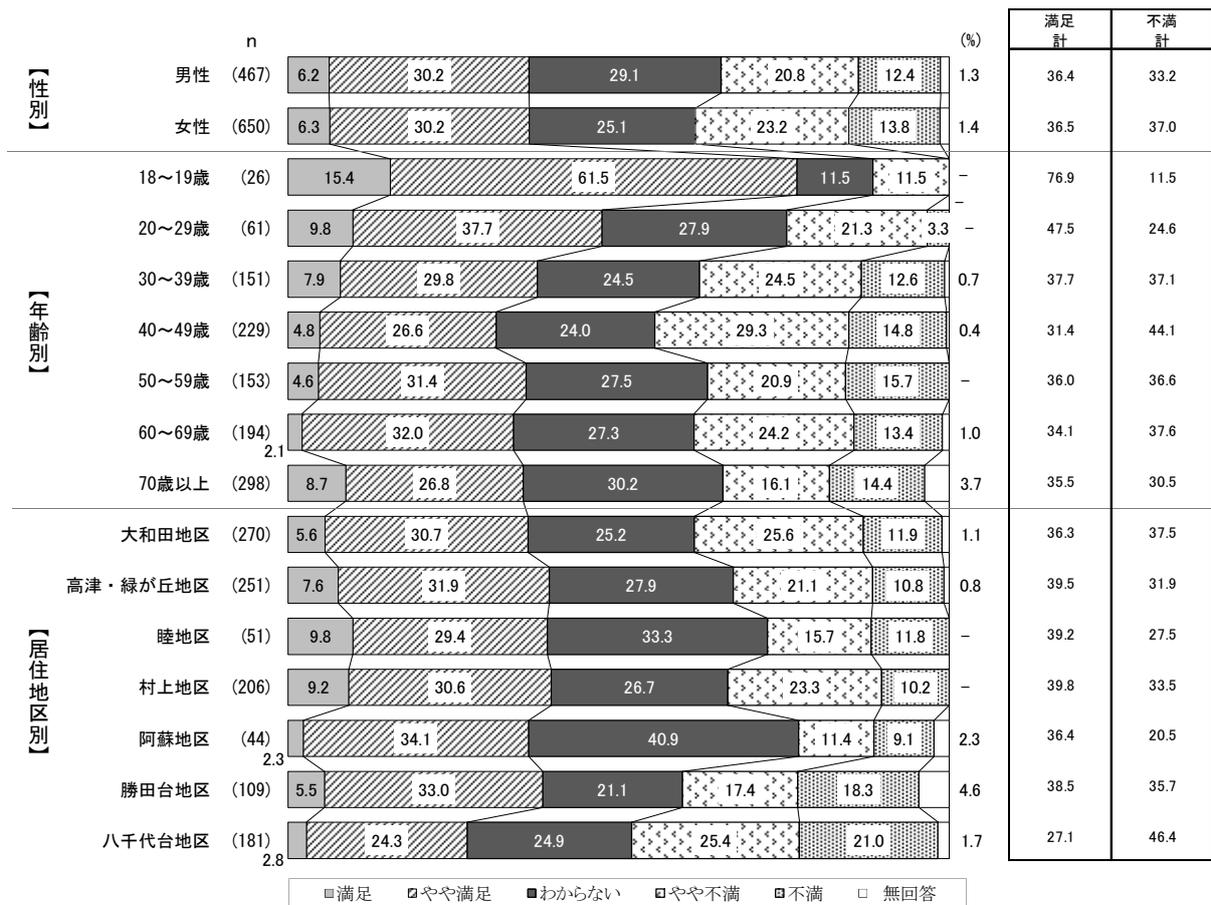
前回調査と比較してみると、<満足 計>は前回調査より2.6ポイント増加しています。

性別にみると、〈不満 計〉の割合は女性（37.0％）が男性（33.2％）を3.8ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈満足 計〉の割合は18～19歳で76.9％と最も多くなっています。一方、〈不満 計〉の割合は40～49歳で4割台半ばとなっています。

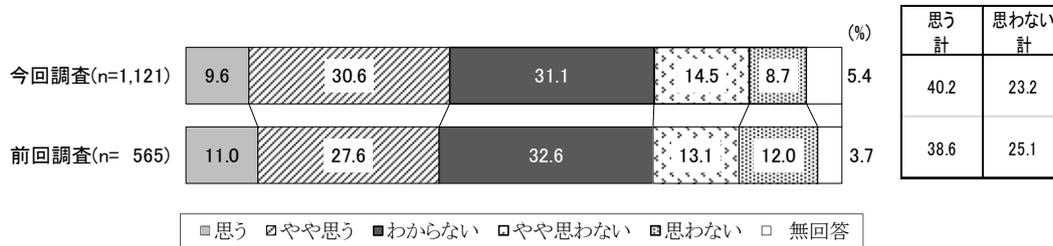
居住地区別にみると、〈不満 計〉の割合は八千代台地区で46.4％と最も多く、〈満足 計〉の割合を大きく上回っています。

■性別/年齢別/居住地区別



(10) 「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

問14 現在策定中の「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」には、問5から問13までの設問に関連する事業が含まれています。本市の将来の人口減少抑制を目標としていますが、あなたはこの総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思いますか？



総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思うかについては、「思う」(9.6%)と「やや思う」(30.6%)を合わせた<思う 計>が40.2%、「やや思わない」(14.5%)と「思わない」(8.7%)を合わせた<思わない 計>が23.2%となっています。一方、「わからない」も31.1%となっています。

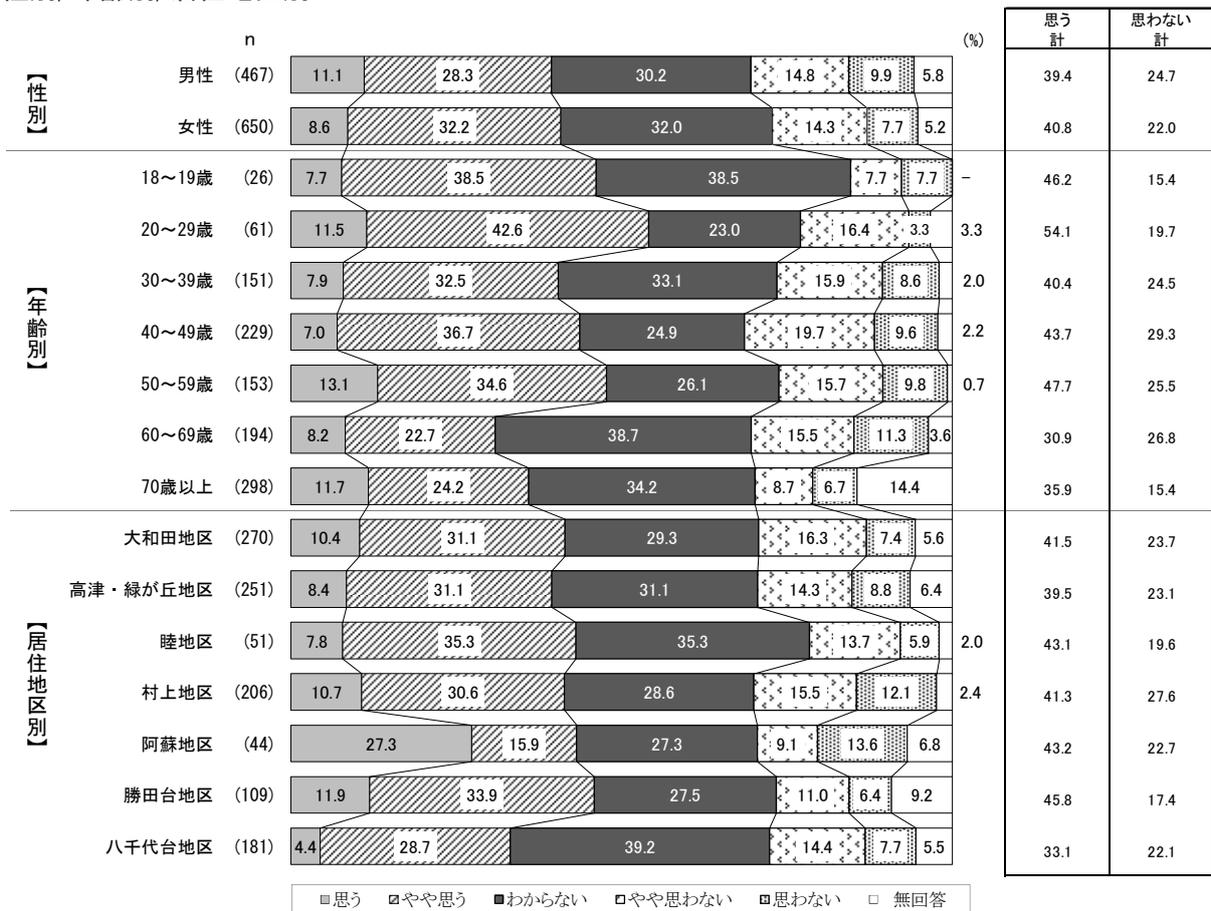
前回調査と比較してみると、<思う 計>は前回調査より1.6ポイント増加しています。

性別にみると、〈思わない 計〉の割合は男性（24.7%）が女性（22.0%）を2.7ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は20～29歳で54.1%と最も多くなっています。

居住地区別にみると、〈思う 計〉の割合は勝田台地区、阿蘇地区、睦地区で4割台とやや多くなっています。

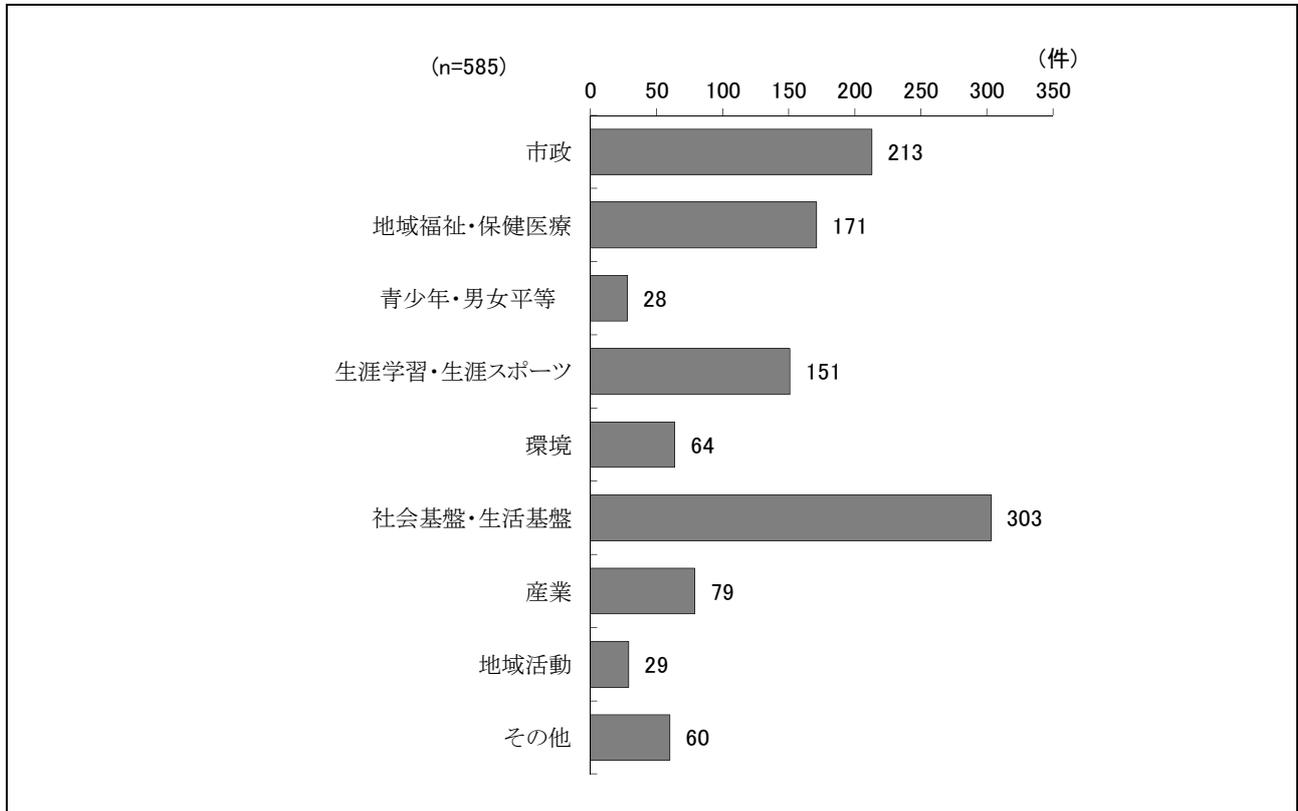
■性別/年齢別/居住地区別



(11) 八千代市へのご意見・ご要望

問15 今後のまちづくりについて、市へのご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

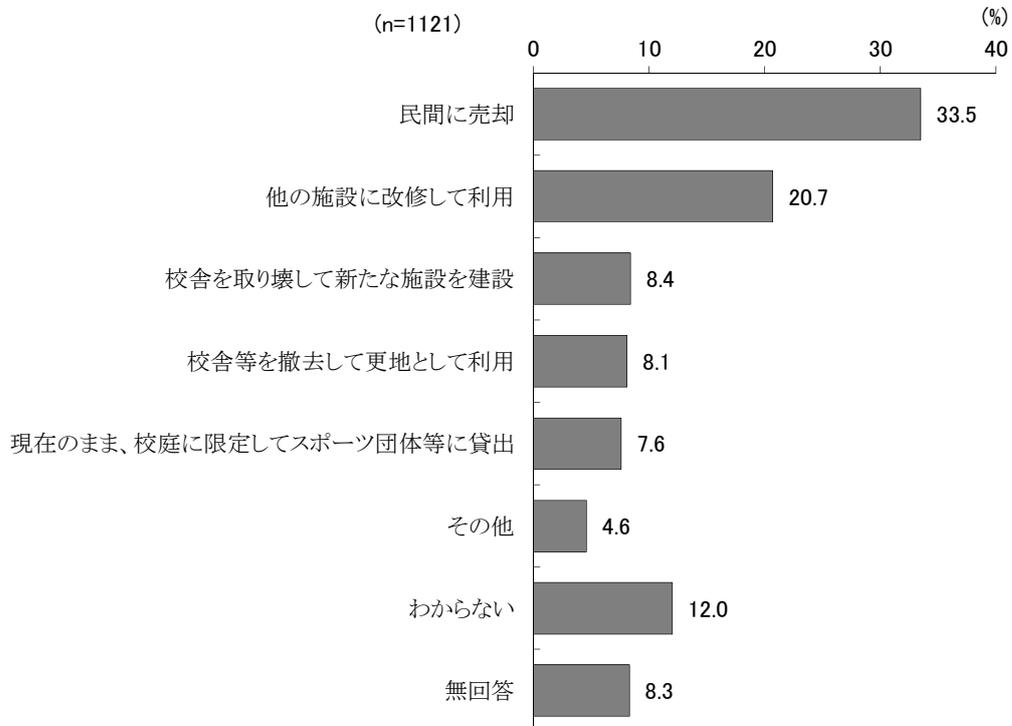
八千代市へのご意見・ご要望については、585名の方から述べ1,098件の内容をいただきました。下記は主な内容と件数になります。



3. 公共施設の跡地利用に関する調査結果

(12) 「旧八千代台東第二小学校の活用」について

【別紙】問1 旧八千代台東第二小学校をどのように活用すれば良いと思いますか？(複数回答)



旧八千代台東第二小学校をどのように活用すれば良いと思うかについては、「民間に売却」(33.5%)、「他の施設に改修して利用」(20.7%)が多くなっています。

第2章 調査結果の分析

性別にみると、「他の施設に改修して利用」の割合は女性（22.8%）が男性（18.0%）を4.8ポイント上回っています。

年齢別にみると、18～19歳と20～29歳では「他の施設に改修して利用」が最も多くなっています。

居住地区別にみると、「他の施設に改修して利用」は高津・緑が丘地区、睦地区、阿蘇地区で2割台半ばから約3割と多くなっています。また、八千代台地区では「校舎を取り壊して新たな施設を建設」が14.9%と他の地区と比べてやや多くなっています。

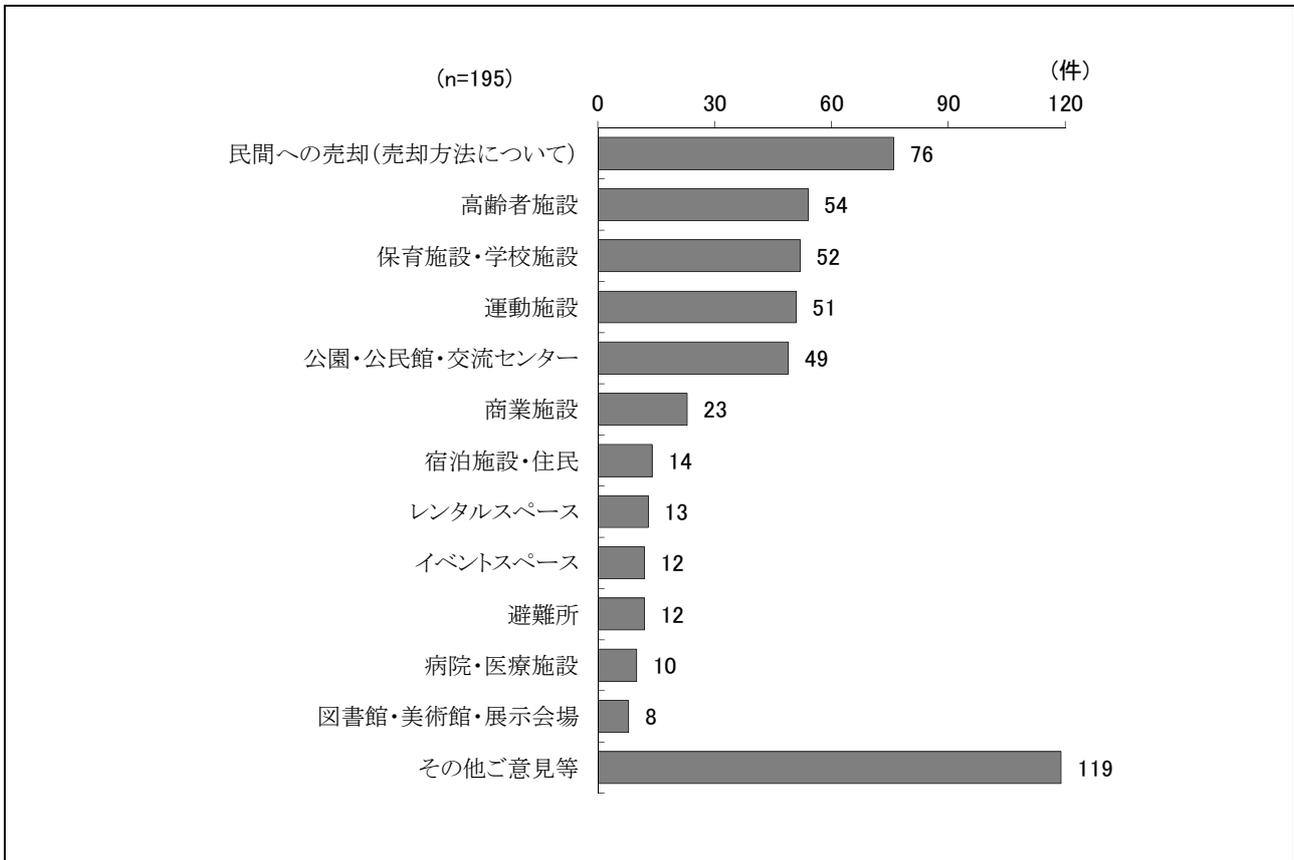
(%)

		n	民間に売却	他の施設に改修して利用	校舎を取り壊して新たな施設を建設	校舎等を撤去して更地として利用	現在のまま、校庭に限定してスポーツ団体等に貸出	その他	わからない	無回答
【性別】	男性	467	33.2	18.0	8.4	8.8	9.0	6.0	10.7	8.8
	女性	650	33.7	22.8	8.5	7.7	6.5	3.7	12.8	8.0
【年齢別】	18～19歳	26	23.1	42.3	11.5	3.8	11.5	3.8	7.7	-
	20～29歳	61	24.6	34.4	11.5	14.8	8.2	-	4.9	3.3
	30～39歳	151	34.4	24.5	9.9	2.6	5.3	6.6	9.3	10.6
	40～49歳	229	44.1	13.1	9.2	7.0	6.6	6.1	9.6	9.2
	50～59歳	153	42.5	17.0	7.2	6.5	9.2	3.9	9.2	9.2
	60～69歳	194	31.4	21.6	6.2	9.3	8.8	3.6	10.8	9.8
	70歳以上	298	24.5	21.8	7.7	10.7	7.7	4.0	19.1	7.0
【居住地区別】	大和田地区	270	36.3	17.0	8.1	5.9	7.0	4.1	13.3	10.4
	高津・緑が丘地区	251	32.7	27.5	5.6	6.8	5.2	7.2	11.6	6.8
	睦地区	51	35.3	23.5	9.8	7.8	3.9	2.0	5.9	11.8
	村上地区	206	33.5	18.4	7.3	9.7	10.2	3.9	12.6	7.3
	阿蘇地区	44	29.5	25.0	6.8	6.8	6.8	-	20.5	9.1
	勝田台地区	109	36.7	18.3	5.5	11.0	8.3	3.7	14.7	6.4
	八千代台地区	181	28.7	19.9	14.9	10.5	9.9	5.5	8.3	7.2

(13) 活用についてのご提案やご意見

【別紙】問2 同校の活用について、ご提案やご意見がございましたら、お聞かせください。

旧八千代台東第二小学校活用への具体的な提案や意見をきいたところ、195名の方から述べ493件のご意見をいただきました。下記は主な内容と件数になります。



第3章 調査票

八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび八千代市では、市内に在住の18歳以上の男女3,000名を対象にアンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、将来の人口減少対策として、平成27年度から31年度までに、市が重点的に取り組むべき政策目標・施策を示す「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけている各事業に関連して、市民の皆様が現在の八千代市についてどのように感じておられるか、皆様の満足度を把握するために実施いたします。

お答えいただきました調査結果は市ホームページ等で公表しますが、内容は統計的に処理し、個人の特定につながる情報は一切公表いたしません。

ご回答のために貴重なお時間をいただくことになり、まことに恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、「八千代市人口ビジョン」および「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容につきましては、別添の概要版または八千代市のホームページをご覧ください。

平成29年1月

八千代市長 秋葉 就一

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、あて名の方ご本人がご記入ください。
2. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
3. ご記入は、必ず黒または青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
4. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
5. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
6. 「その他」に○印をつけられた方は、() にその内容をご記入ください。
7. ご記入いただきました調査票は、

平成29年2月7日（火曜日）までに、

同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

8. 調査の内容や記入方法等について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

（問い合わせ先） ■八千代市 総務企画部総合企画課 企画政策班
 〒276-8501 千葉県八千代市大和田新田 312-5
 電話 (047) 483 -1151

あなたご自身のことについておたずねします。

【問1】あなたの性別は、次のどちらですか？

1	男	2	女
---	---	---	---

【問2】あなたの年齢は、次のうちどれですか？

1	18 ～ 19 歳	5	50 ～ 59 歳
2	20 ～ 29 歳	6	60 ～ 69 歳
3	30 ～ 39 歳	7	70 歳以上
4	40 ～ 49 歳		

【問3】あなたの職業は、次のうちどれですか？

1	会社員	5	専業主婦または主夫
2	自営業	6	学生
3	農業	7	無職
4	公務員	8	その他（ ）

【問4】あなたのお住まいは、次のうちどこですか？

	地区	該当町丁目・街区
1	大和田地区	大和田・萱田・萱田町
2	ゆりのき台地区	ゆりのき台1丁目～8丁目
3	大和田新田(A)地区	大和田新田下区等、萱田中学校又は大和田中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区
4	大和田新田(B)地区	大和田新田上区等、高津中学校、東高津中学校又は睦中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区
5	高津・緑が丘地区	高津・高津東1丁目～4丁目・緑が丘1丁目～5丁目
6	八千代台東南地区	八千代台東1丁目～6丁目・南1丁目～3丁目
7	八千代台西北地区	八千代台西1丁目～10丁目・北1丁目～17丁目
8	勝田台地区	勝田台1丁目～7丁目・勝田・勝田台南1丁目～3丁目
9	村上地区	村上・村上南1丁目～5丁目・下市場1丁目～2丁目・上高野・勝田台北1丁目～3丁目
10	阿蘇地区	米本・神野・保品・下高野・堀の内
11	睦地区	桑納・麦丸・桑橋・吉橋・島田・神久保・小池・真木野・佐山・平戸・島田台・尾崎・大学町1丁目～6丁目
12	米本団地地区	米本団地1街区～5街区
13	高津団地地区	高津団地1街区～7街区
14	村上団地地区	村上団地1街区～3街区

八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

八千代市では、将来の人口減少対策として今後市が重点的に取り組むべき政策目標・施策を掲げる「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年3月に策定しました。

次の設問から、「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連する設問となります。

【問5】「八千代市のイメージ」についてお尋ねします。

本市は、都心から30 km圏に位置し、東京のベッドタウンとして発展してきました。また、新川を中心に広大な田園が広がるなど、豊かな自然も残されています。あなたは本市のイメージは良いと思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 わからない	4 やや思わない	5 思わない
------	--------	---------	----------	--------

【問6】「八千代市の活性化」についてお尋ねします。

まちの活性化のためには、「地域コミュニティの活性化」、「地域の産業の活性化」「地域の観光の活性化」などが必要ですが、本市は現在、まちが活性化していると感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問7】「新川周辺の活性化」についてお尋ねします。

市のシンボリック存在の新川の周辺には、やちよふれあい農業の郷、中央図書館・市民ギャラリーや総合グラウンドなどがあり、また、夏には八千代ふるさと親子祭が開催されるなど、イベントにも活用されています。あなたは新川周辺が活性化していると感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問8】「地域活動」についてお尋ねします。

地域には、自治会などの活動をはじめ、老人クラブや地域ボランティアなどの様々な活動がありますが、あなたは積極的に地域活動に参加していると思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 わからない	4 やや思わない	5 思わない
------	--------	---------	----------	--------

【問 9】「地域消防・救急体制」についてお尋ねします。

市では、消防拠点の整備や車両の増強、救急・救助体制の強化や医療機関との連携強化に努めているところですが、あなたは本市の地域消防・救急体制が整っていると感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問 10】「災害に備えた対策」についてお尋ねします。

市では、災害に備えて情報伝達手段の多様化や、食料などの必要物資の備蓄などに努めているところですが、本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 わからない	4 やや思わない	5 思わない
------	--------	---------	----------	--------

【問 11】「公共交通不便地域における高齢者の移動」についてお尋ねします。

市では、公共交通の利用が困難な地域に居住し、外出が困難な高齢者のため、タクシーの利用料金の一部を助成し高齢者の外出を支援していますが、本市は公共交通不便地域にお住まいの高齢者など、交通弱者にやさしい交通環境だと感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問 12】「防災・生活情報の得やすさ」についてお尋ねします。

市では、防災・生活情報の伝達強化や、多言語による防災・生活情報の配信に取り組んでいます。あなたは防災・生活情報が得やすいと感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問 13】公共施設のサービス、設備や管理・運営に関する満足度についてお尋ねします。

市内には、市民会館・図書館をはじめ多くの公共施設がありますが、あなたは公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足していますか？

1 満足	2 やや満足	3 わからない	4 やや不満	5 不満
------	--------	---------	--------	------

回答用紙：別紙

「公共施設の跡地利用に関するアンケート」

にも、あわせてご協力下さい。

旧八千代台東第二小学校跡地について

現在、市では、旧八千代台東第二小学校跡地の活用について、検討しています。

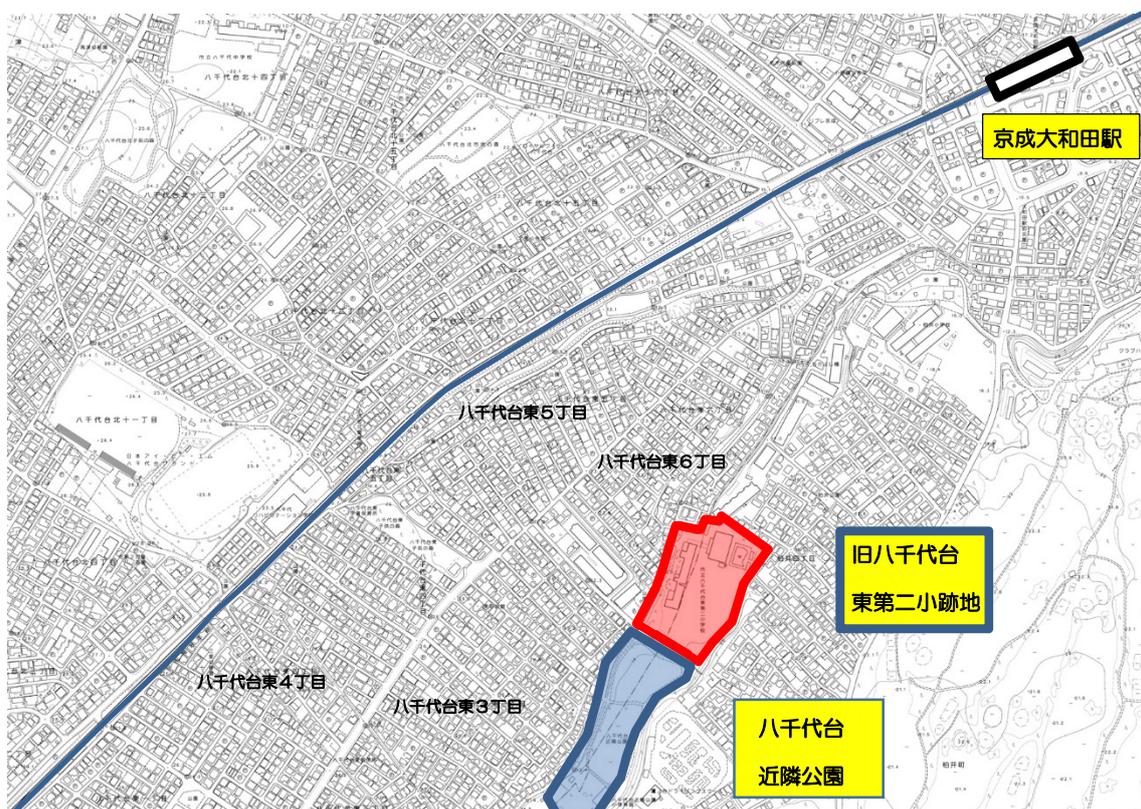
同校は、昭和53年に開校しましたが、児童数の減少等に伴い、平成27年に八千代台東小学校との統合により、廃校となっております。

また、同校の校舎については、耐震基準等を満たしておらず、利用に当たっては、耐震補強が必要となり、体育館についても、部分的な改修や天井の落下防止措置が必要となっています。また、撤去に約2億円、他の施設に改修するには4～6億円程度、校舎を取り壊して新たな施設を建設するには、それ以上の費用がかかります。

現在、校庭に限定してスポーツ団体等に貸出を行っています。

これらを踏まえ、裏面の質問にお答えください。

(位置図)



【問1】旧八千代台東第二小学校をどのように活用すれば良いと思いますか？番号に○をしてください。

1 現在のまま、校庭に限定してスポーツ団体等に貸出	2 校舎等を撤去して更地として利用	3 他の施設に改修して利用	4 校舎を取り壊して新たな施設を建設	5 民間に売却	6 その他	7 わからない
------------------------------	----------------------	------------------	-----------------------	------------	----------	------------

・「6 その他」の場合は具体的に

【問2】同校の活用について、ご提案やご意見がございましたら、お聞かせください。

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～
 ご記入いただいた調査票は、そのまま同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
2月7日（火）までに郵便ポストへ投函してください。

【問い合わせ先】

八千代市 総務企画部 総合企画課 企画政策班 電話 047-483-1151